広報
西郷
No.454
―毎月１日・発行―
10月 1日
平成２０年（２００８）

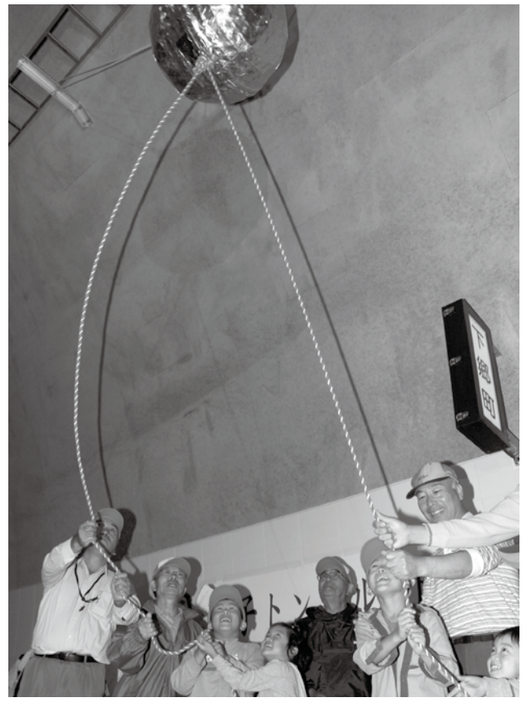
Main Contents

最初で最後のトンネルフリーウォーク……２～３
甲子道路で西郷と下郷の地域間交流に期待……４



祝甲子道路開通

開通記念子ども交流会での除幕式（９月３日）



西郷村国道289号甲子トンネル開通記念事業実行委員会では、９月21日に甲子道路が開通することから甲子トンネル開通イベントを９月14日キョロロン村ねころんぼ広場を会場に行われました。

この開通イベントには、甲子大橋及び甲子トンネル内の見学を兼ねた最初で最後のトンネルフリーウォークの他、会場となったねころんぼ広場では、物産品の販売ブース、特設ステージでの太鼓演奏、よさこい、チアリーディングなどが催され約4,000人の参加者が甲子道路開通を祝いました。

最初で最後のトンネルフリーウォーク

トンネル開通イベントに四千人が参加

甲子トンネル開通イベントは、九月十四日、キョロロン村ねころんぼ広場を会場に参加者約四千人が集まり行われました。

開会式では、国道二八九号甲子トンネル開通記念事業実行委員会会長である佐藤西郷村長が「開通前の最初で最後のフリーウォークです。トンネルをしっかり見て楽しんでください。」とあいさつを行いイベントがスタートしました。

参加者は、キョロロン村ねころんぼ広場をウォーキングでスタートし、トンネルを見学するコースとねころんぼ広場よりシャトルバスで甲子大橋まで行きトンネルを見学する二コース別れて楽しんでいました。

甲子トンネル町村境では、佐藤西郷村長と湯田下郷町長が甲子道路が開通することにより、両町村が親睦を深め互いに地域の活性化に向けてＰＲしていく思いを込めて握手をしました。その後、町村長と両議長、西郷村商工会長、下郷地区みちづくり委員会会長等がくす玉を割り、参加者と開通を喜びました。

ねころんぼ広場では、午後十二時三十分より参加者の歓迎をこめて西郷村スポーツ民踊愛好会及びコーラス西郷の踊りと合唱に続き、陸上自衛隊郡山駐屯地太鼓部やいしかわぐんよさこい踊り隊、クラップスチアリーダーズ等のアトラクションが披露されました。

フリーウォークを終えた参加者は、芝生に座り、太鼓の演奏などのステージを楽しんだり、お楽しみ抽選会で、新甲子温泉のペア宿泊券や福島民友新聞社特別賞の地上デジタルハイビジョン液晶テレビが当たるなど、イベントを最後まで楽しんでいました。





▲福島民友新聞社より特別賞の贈呈



▲会津鶴ヶ城太鼓若駒会のステージ



▲完成したトンネルを歩く参加者

第 15 回西郷村少年の主張大会

たくさんの夢や希望を抱いている小学生や多感な時期の中学生が、日頃考え感じていることを主張し、社会に目を向ける機会を提供することを目的として、第 15 回西郷村少年の主張大会が、８月 27 日に西郷第一中学校で開催されました。小学生の部には、村内の各小学校より代表者１名ずつ、中学生の部には７名、そして特別発表の部に３名のあわせて 15 名の皆さんが、それぞれの主張を発表しました。

なお、今年度から、より多くの中学生に同年代の発表を聞いてもらうために中学校を会場としました。



▲少年の主張大会で堂々と自分の考えを発表したみなさん

小学生の部

◇最優秀賞
室井　涼介（熊倉小六年）
「じいちゃんはスーパーマン」

◇優秀賞
佐藤　明音（川谷小六年）
「強がってしまう心」

◇優良賞
岡部　航大（小田倉小六年）
「陸上とぼく」
永山　縁（米小六年）
「私を支えてくれたもの」
吾妻　香奈（羽太小六年）
「炭焼き体験が教えてくれたこと」

中学生の部

◇最優秀賞
鈴木　晴彦（西一中三年）
「『平和』という言葉から」

◇優秀賞
石井　茉耶（西一中三年）
「私たちの手で」
松本　菜々（川谷中三年）
「自分らしく」

◇優良賞
吉田　育未（西一中三年）
「行方（ゆくえ）」
佐藤　宏香（西二中三年）
「気付かぬ差別」
星　奈々美（西二中三年）
「沖縄で学んだこと」

特別発表の部

島田　陽子（川谷中三年）
「中国へ行って」
樋口　幸千恵（西郷養護学校）
「私のあこがれの先輩」
森谷　博子（村ＰＴＡ代表）
「個性と多様性」



▲会場となった西一中の体育館

会場では、先生方をはじめ西一中の全校生と西二中の二年生、川谷中の三年生、そして父兄のみなさんが、それぞれの主張を熱心に聞いていました。

甲子道路で西郷と下郷の地域間交流に期待

子どもたちの交流会

念願としていた、国道二八九号甲子道路が開通すれば白河地方と南会津地方が直接結ばれることから、地域間交流の拡大及び広域的連携が今後重要となります。

西郷村と下郷町では、福島県地域サポート事業の補助を受け、九月三日に開通記念子ども交流会を開催いたしました。

交流会は、両町村の小学生児童約三百人が甲子トンネルのそれぞれの入口から入り、町村境で合流し、代表児童が光の交換を行いました。その後、町村長のあいさつや村旗、町旗の交換を行いこれからの交流を約束しました。

午後からは、下郷町旭田小学校に場所を移動して、佐藤県知事の「わくわく授業」と題して、県知事の子どもころの話や今後の夢などの話を聞きました。



▲佐藤雄平知事を囲んで甲子トンネル前で記念撮影

甲子トンネル銘板除幕式

西郷村と下郷町を結ぶ甲子道路が平成二十年九月二十一日に開通いたしました。開通に先立ち九月三日、西郷村と下郷町を結ぶ甲子トンネルの銘板除幕式が下郷町側トンネル入口で行われました。

除幕式には、西郷村と下郷町の小学生の代表十名が、佐藤雄平福島県知事、近藤淳郡山国道事務所長、湯田雄二下郷町長、佐藤正博西郷村長が一緒に除幕を行いました。

佐藤雄平福島県知事は、子どもの頃白河に行くには、一日かかった思い出がありますが、甲子トンネルを通ることにより短時間で行くことが出来るようになった。」とあいさつがありました。



▲全員が見守るなか児童による光の交換



▲トンネルを歩き町村境を目指す児童



▲児童と町村長による村旗、町旗の交換



▲佐藤県知事による「わくわく授業」の様子

「じいちゃんはスーパーマン」



熊倉小学校
六年
室井　涼介

ぼくには、自慢のすごいじいちゃんがいます。昭和七年生まれ、今年七十六歳のスーパーマンです。

じいちゃんのすごいところの一つ目は、遊び道具づくりの名人だということです。竹馬やこま、さらに、わらじなどお父さんたちが作れないものも、かんたんに作ってしまうのです。

「涼、竹馬作りするからな。じいちゃんの作っているとこ見てろよ。」

と言うと、あっという間に、竹をのこぎりで切り、なたで半分に割り、針金で足場をしばって、作ってしまいます。どうだといわんばかりに、得意満面です。ぼくが「じいちゃん、すごく乗りやすいよ。」と言うと、じいちゃんはますますにこにこします。

「どうしてこんなにうまく作れるの。」

ぼくが聞くと、

「涼、昔はな、戦争もあったし、今みたいに遊ぶのもなかったから、山からとってきたもので、自分で遊び道具を作るしかなかったんだ。そしてな、作り方は、じいちゃんのお父さんから教わったんだ。よく『へたくそっ』っておこられたもんだよ。」

と、愛用のなたを見ながら話してくれました。ぼくは、そんなじいちゃんに、今、なたやのこぎりなどの使い方を少しずつ教わっているところです。これは秘密ですが、上手に使えるようになったら、じいちゃんに腰掛けを作ってあげたいです。

じいちゃんのすごいところ二つ目は、農業のプロであることです。ぼくたちの命を支えてくれる大切な仕事をしているのです。じいちゃんの作った米や野菜は手間ひまかけているので、とてもおいしいです。それに何といっても安心・安全です。一番大切なことではないでしょうか。

じいちゃんは、毎日毎日、朝から晩まで重いものを運んだり、土を耕したり、水の管理をしたり、ハウスを組み立てたりと、とてもたくさんの仕事をしています。こんなに大変なことをしているのにもかかわらず、じいちゃんは、とても楽しそうに仕事をします。

「俺には、これが一番合っているんだ。」

ぼくがたまに手伝ったときには、いつもこの言葉を言います。でも、腰を曲げてさすっていたり、足を引きずって歩いていたりする姿を見たことがあるので、「じいちゃん大変そうだな。大丈夫かな。」と本当は心配なんです。だから、時間があるときには、じいちゃんの手伝いをするようにしているのです。

農業の仕事は苦労が多いけど、とてもやりがいのある大切な仕事です。それは、じいちゃんの働く姿から伝わってきます。ぼくもじいちゃんのように、みんなを幸せにする農業の仕事ができる人になりたいです。だけど、じいちゃんには、はずかしくて言えません。

また、じいちゃんとお風呂に入ると、

「涼、いいか、人から何か言われたり、されたりしても、他の人にやりかえすことはやめろ。それから、命は大切にしろ。」

と、よく教えられます。ぼくは、じいちゃんの背中を流しながら聞いています。じいちゃんの言葉はとても重みがあります。それは、じいちゃんが、昔、大きな事故にあってけがをしたからです。ぼくは、じいちゃんが元気に生きていてくれて本当に良かったと思っています。

じいちゃんには、これからも魚のわなの作り方や野菜の育て方など、教えて欲しいことが、やまほどあります。だからじいちゃん、これからもめんどうを見てね。

そしてぼくは、いつかじいちゃんのように自分に厳しく、心の優しい人になるからね。今日、みんなの前で約束します。いいでしょう、じいちゃん。



「『平和』という言葉から」



西郷第一中学校
三年
鈴木　晴彦

みなさんは普段生活していて「平和」という言葉を感じることがありますか。みなさんにとって「平和」という言葉はどんな存在ですか。

僕たちが生まれて今まで生きてきたこの日本という国は、治安が良い国だといわれている。外国の方々から見れば、そういう国のようだ。でも、毎日のように全国各地から悪い知らせが入ってくる。殺人や自殺、事故によって多くの命が奪われている。みなさんはこんな現実をどう感じますか。

この国では、昔、戦争という大きな悲劇があった。その戦争で、最も大きな被害を受け、唯一地上戦が行われた県をご存じですか。それは、沖縄県です。

僕たちは今年、修学旅行で沖縄県に行った。平和について学ぶことをテーマに戦争の跡地を観たり、実際、戦争に関わった方からの講話として、当時の状況を聴かせて頂いたりと貴重で充実した平和学習を行うことができ、本当に良かったと思った。

今回の学習で、僕は命の尊さや戦争のない今の世界に対する平和であるということへの感謝やありがたみ、何不自由なく生きていけることへのありがたみを身をもって感じることができた。当時の人々は、夜、安心して寝ることや次の日の朝を安心して迎えることさえできず、お腹がすいたから何かを食べたり、飲んだりすることさえできずに、安心した生活を送ることとさえできずに苦しんでいたと思う。

今、ここに原子爆弾が落とされたら、もし、朝起きると暗くて狭い知らない場所にいたらって考えたらどう思いますか。考えたことも、考えたくもないことである。でも当時、戦争を体感した人々の中には、そんな悲惨な現実に巻き込まれた人もいるのではないか。そう考えると、本当に戦争について考えさせられませんか。本当にひどく、残こくだと思いませんか。そんな現実を二度と繰り返してはいけないと思った。

今は、平和主義が宣言されていて、戦争が二度とおこらない環境になっているが、世界では今も、内戦や紛争がおこっている。人々が命を奪い合っていく無意味さと奪われる苦しみを知るこの国に、できることがあるように、自分たちにも何かできることはないのかと思った。どんなに小さな事でも集まれば大きな形になって現れると思う。

今回、自分が学んできた戦争についてや、平和については、自分が感じたことが本当なのか、平和について本当に目を向けられたのかは分からないが、戦争がおきたという間違いについては、分かったつもりだ。戦争がない今の生活がいかに幸せで平和であるかということは、分かったつもりだ。

平和という言葉の意味を考えてみると、当時の人々が考えるものと、自分たちが考えるものとは、違うことが浮かぶかもしれない。でも、それも良いことなのではないかと思う。正解も間違いもないと思う。

自分にとって平和とは何か。自分なりに感じ考えることが大切だと思う。

自分が考える平和とは、普通であるということだ。何不自由なく、普通に生活できること、それが一番近くて、一番簡単で、一番大切だと、今回の学習から学び考えた。

みなさんにも、普段何気なくしていることがいかに大切で幸せなことか分かって欲しい。普通であるということがいかに幸せなことか分かって欲しい。

今回の貴重な学習を無だにしないためにも平和について、戦争について自分なりに感じ、考えていきたい。

みなさんも今の生活に感謝しよう。普通であるという平和に。



平成二十年度
西郷村敬老会開催

西郷村敬老会が、九月四日に村民体育館で開催されました。

村の七十五歳以上の千五百六十六名が招待を受け、当日四百四十名のおじいちゃん、おばあちゃんが出席しました。

副村長の開式の辞で式典が始まり、村長より長年の労苦に対し感謝のことばが述べられました。

敬老祝金が、代表者の小針信義さんに贈呈されました。

また、内田マサエさんには記念品、佐藤貞義さんには、銀杯、菅 市三郎さんには、金杯が村長から手渡されました。

社会福祉協議会の会長から、八十八歳になる二十八名を代表して飛知和モトさんに座布団が贈られました。

また福島民報社から金婚夫婦二十三組を代表して、眞舩正義さん・クニ子さんご夫妻に賞状と記念品が贈られました。これらに対して、河越良平さんが感謝の言葉を述べました。

式典終了後には、アトラクションが催され、第一部ではみずほ保育園の園児が「ドレミのうた」を合奏しました。園児たちのかわいい出し物に、おじいちゃん、おばあちゃんから大きな拍手が送られていました。

また踊り愛好会では「河内おとこ節」、「絵島生島」を踊り、スポーツ民踊愛好会は「寿酒」を披露しました。そしてコーラスにしごうのみなさんによる「秋のメドレー・源流の郷・ふるさと」の合唱で第一部を閉じました。

第二部は、菊池まさこさんと東 汐璃さんの歌謡ショーが行われ、会を盛り上げました。



▲謝辞を述べる河越良平さん



▲式辞を述べる村長



▲銀杯を受けとる佐藤貞義さん



▲記念品を受けとる内田マサエさん



▲敬老祝金を受けとる小針信義さん



▲金婚夫婦の代表者眞舩正義さん・クニ子さんご夫妻



▲座布団を受けとる飛知和モトさん



▲金杯を受けとる菅 市三郎さん

村内のご長寿

（敬称略）

◇女性の部

平山　ヨシ（さつき荘）　一〇五歳
渡辺　カツエ（由井ケ原）　一〇二歳
高橋　ミツ（芝原）　一〇一歳

◇男性の部

佐竹　義興（下羽太）　九十七歳
金田　晋次（下折口原）　九十五歳
和知　英作（上折口原）　九十五歳

四百四十名が参加した敬老会で、九十歳以上の笑顔が素敵で元気なおばあちゃん四名の方に、お話しを伺いました。

おばあちゃん、元気で長生きしてね！



鈴木　千枝さん（柏野）

大正五年二月十一日生まれ　九十二歳

好き嫌いなく何でも食べます。一週間に一回、ディサービスを利用していますが、その日がとても楽しみです。

また週三回、ヘルパーさんのお世話になっております。

「大奥」などの時代劇テレビを見るのが大好きです。

お茶飲み友だちとの、おしゃべりも楽しみの一つです、まわりの方に助けられ元気でいられることに感謝しています。



古川　末子さん（大平）

大正六年八月一日生まれ　九十一歳

カラオケが大好きで、寿学級でもカラオケ教室に参加しています。歌うことばかりではなく、演歌を聴くことも大好きです。

月二回は栃木県の温泉に行きますが、そこでもカラオケを歌っています。テレビのカラオケ道場は、欠かさず見ています。

普段は畑で野菜など栽培しており、買い物などにも自分で行きます。

政治などにも興味があります。



真船　マキさん（真船）

大正七年二月一日生まれ　九十歳

子ども七人、孫十人、ひこ二人おります。

一日の日課は、まず新聞に目をとおすことから始まり、午前中読んでいます。

昼食後は、必ず昼寝をして、夕方のテレビで時代劇を見るのが、楽しみです。

毎日日記をつけており、裁縫なども好きです。

食べ物は、刺身が苦手ですが、他は何でも食べます。



佐藤　ヒロさん（熊倉）

大正七年一月十五日生まれ　九十歳

一人で生活していますが、娘が近くに嫁いでいるため、心強いです。

畑があり、野菜などを栽培しています。

朝と夕方には、近くを散歩しています。

食べ物は、刺身が苦手で、漬け物と煮物が、大好きです。

民謡を聴くのが好きです。

孫が三人おり、成長が楽しみです。

地域安全推進協議会活動推進員や不法投棄監視員、地元警察官、役場職員合わせて33名の皆さんが通称台上道路のゴミ拾いに汗を流しました。

ここを会場に東西白河の中学校駅伝大会が開催されるため、参加者に気持ちよく走ってもらおうと実施されました。2時間ほどで空き缶やペットボトル、電化製品など軽トラック2台分のゴミが回収されました。

環境整備に汗を流す



8/28



8/24

プロの細かい動きをチェック

アトランタ、アテネオリンピック女子バスケットボール日本代表の永田睦子さんを講師に迎え、村民体育館で行われたバスケットボール講習会に村内の小・中学生100名が参加しました。

小、中学生の技術向上を目的に、バスケットボール協会が毎年実施しているもので、参加者はプロの細かい動きを習得しようと真剣な態度で臨んでいました。

災害時の炊き出しを体験したのは、羽太小学校の4・5・6年生です。日赤奉仕団のみなさんから指導を受け体験しました。ハイゼックスというビニール袋に白米ときれいな水を入れ、しっかりと袋を閉じて鍋で炊きます。

鍋には濁った水を使用しても、おいしいごはんが炊きあがるというものです。

炊き出しを体験



9/1



8/31

西郷村と下郷町をPR

国道289号甲子道路の開通を記念し、8月最後の日曜日、いわき市小名浜のアクアマリンパークでＰＲ活動を行いました。

西郷村のじゃがいもと下郷町のじゅうねんかりんとうをセットにして、500名の方に無料で配り、「ぜひ、お越しください」と呼びかけました。好天に恵まれたため、多くのみなさんに西郷村と下郷町をPRすることができました。

photo NEWS

ほっと フォト ニュース

村では10年前の8．27災害を忘れないために、文化センターのロビーに当時の写真や新聞記事等を展示しました。

8月27日は、早朝6時に大雨洪水警報が発令になったという想定で、水防災害対策本部を設置、本部長である村長の指揮命令により職員を招集し、豪雨災害応急対策机上訓練を実施し、業務分担に従い訓練を行いました。また、午後6時からは、文化センターにおいて豪雨災害体験者8名による発表があり、多くの方が当時の記憶を呼び覚ましていました。

8/27

あれから十年・・・災害の記憶を呼び覚ます



▲水防災害対策本部を設置し、会議室で行われた緊急防災訓練の様子





▲災害時の体験を発表する白河地方広域市町村圏消防本部の大倉隆さん



▲文化センターに展示された新聞記事

安全運転を願って

交通安全は、みんなの願いですが、特にお盆の帰省ラッシュに合わせ、国道4号線の白河検問所で無事故を呼びかけました。村長をはじめ西郷村交通対策協議会や西郷村交通安全母の会のみなさん50名が、眠け覚ましの梅干しやガム、そして赤、青、黄色の白河だるまをドライバーに配りました。



8/11

西郷村と信越半導体株式会社 新工場建設で基本協定締結

村内に白河工場を有する半導体メーカーの信越半導体（株）は、９月３日、村内の長久保工業団地に新工場を建設するため、村と工場立地に関する基本協定を取り交わしました。

調印式は、村内のホテルサンルート白河で佐藤雄平県知事も立ち会いのもと行われました。

信越半導体（株）秋谷社長と佐藤村長、立会人である佐藤知事が基本協定書に署名、その後３人で固く握手を交わしました。

工場用地は、白河工場と同規模の約 47 万７千平方メートル、信越化学グループとしての活用も検討されています。工事の着手時期、事業内容、雇用人数は今後、発表されることになります。



▲佐藤知事とともに握手をする秋谷社長と佐藤村長

シリーズ―⑩

心と体のにしごう マクロビ給食



「栄養バランスとれた学校給食」

西郷村では、「にしごうマクロビ給食」という特色ある学校給食を推進しています。そのひとつとして魚中心の和食のメニューがあげられます。

給食センターでは、村内の養魚場で育てられた「会津ユキマス」を使った給食を提供しました。

村で養殖している魚

この「会津ユキマス」は、村内で養殖されている魚です。シベリアなど寒い地方に住むサケ科の淡水魚で、福島県の水面水産試験場で研究推奨されたものです。

「会津ユキマス」の特徴は、白身で生臭さがなく、骨まで食べられる魚です。刺身がおいしいといわれますが、給食では、小型のものをからりと揚げて甘辛いたれをかけ、食べやすくしています。

村でとれた魚ですから、「会津ユキマス」もりっぱな地産地消になります。骨もしっかりやわらかいので、たんぱく質とカルシウムたっぷりの「会津ユキマス」を、頭からガブリと丸ごと食べることができます。

今後、いろいろな調理法を研究しながら給食メニューに取り入れて行きたいと思います。

「にしごうマクロビ給食」の特色

- 麦や村内の黒米などの雑穀を入れた胚芽付きご飯を、週四回食べています。
- 安心安全な地場産物をたくさん取り入れ地産地消をすすめています。
- 魚中心の伝統的な和食メニューを衛生的に丁寧に食べやすく手づくりしています。
- 噛む力をつけるカミカミ食材を毎日食べています。
- 米粉で作った「にこにこパン」を月一回食べています。


▲ユキマスの揚げ煮のメニュー

バランスの良い食生活

給食センターでは、食育を児童生徒はもちろん家庭や地域にさらに浸透させて行きます。

また、バランスの穫れた食生活を通して児童生徒の豊かな心の育成を支えるよう事業を継続して参ります。

NHKのど自慢 12月7日（日）開催

国道２８９号甲子トンネル開通を記念して待望の「ＮＨＫのど自慢」が本村で開催されます。

【本　番】１２月７日（日）
開場 / 午前１１時　　開演 / 午前１１時４５分
終演 / 午後１時３０分（予定）
【予選会】１２月６日（土）
受付 / 午前１１時３０分　　開会 / 午後０時３０分
審査結果発表 / 午後６時（予定）

ところ　西郷村立西郷第二中学校　講堂（小田倉字上野原 459 － 1）
主　催　ＮＨＫ福島放送局・西郷村
出　演　ゲスト／前川　清・田川　寿美
出場者／前日の予選会で選ばれた出場者**２０組**
司　会　徳田　章アナウンサー
放送予定　１２月７日（日）　午後０時１５分～１時
― 総合テレビ・衛生第二・ラジオ第一（全国生放送）―


前川　清 さん


田川　寿美 さん

出場申込方法

往復ハガキの「往信の裏面」に、**①郵便番号 ②住所 ③名前 ④グループの場合は人数 ⑤年齢 ⑥職業 ⑦電話番号 ⑧曲目と歌手名 ⑨選曲理由**を記入し、「返信の表面」に**①郵便番号 ②住所 ③名前**を記入してＮＨＫ福島放送局までお申し込みください。

●申し込みは１人（組）１通となります。
※応募多数の場合は、**定員２５０組**を選出のうえ、前日の予選会にご出場いただきます。
※グループの場合は、出場者全員の名前と年齢を記入してください。
※中学生以下の方の応募はできませんのでご了承ください。
※ご応募は原則アマチュアの方に限ります。

観覧申込方法

往復ハガキの「往信の裏面」に、**①郵便番号 ②住所 ③名前 ④電話番号**を記入し、「返信の表面」に、**①郵便番号 ②住所 ③名前**を記入してＮＨＫ福島放送局までお申し込みください。

●応募多数の場合は、抽選で入場整理券（１枚お二人様入場可）を送付します。
※当選はお一人様はがき１通限りとさせていただきます。

申込締切（出場・観覧とも）
10月24日㈮必着

申込先　〒９６０－８５８８（住所不要）
ＮＨＫ福島放送局「のど自慢」出場係または観覧係（どちらかを記入）

※ご応募の際にいただいた情報は、ＮＨＫでは抽選結果のご連絡のほか、番組やイベントのご案内、受信料のお願いに使用させていただくことがあります。

◇問い合わせ先
ＮＨＫ福島放送局　℡０２４－５２６－４６６０（平日 /　午前９時３０分～午後６時）
http://www.nhk.or.jp/fukushima/
西郷村教育委員会生涯学習課・中央公民館　℡２５－２７５５（平日 / 午前８時３０分～午後５時１５分）

information
お知らせと情報

各課直通電話番号

課局室名	電話番号	課局室名	電話番号
総務課	25-1112	企画調整課	25-2943
税務課	25-1113	上下水道課（上水道）	25-2962
住民生活課（住民）	25-1114	（下水道）	25-2912
（生活安全）	25-2197	会計室	25-2934
福祉課（国保）	25-1449	議会事務局	25-2980
（地域福祉・児童福祉）	25-1509	農業委員会事務局	25-2946
商工観光課	25-2910	西郷村土地改良区	25-1116
農政課	25-1116	学校教育課	25-2370
建設課	25-1117	生涯学習課	25-2371
	25-1118	代表	25-1111

保健福祉センター他　※代表（25-1111）からの転送は不可

課局室名	電話番号	課局室名	電話番号
健康推進課（保健）	25-1115	行政サービスセンター	31-2237
（高齢者支援）	25-3910	学校給食センター	25-1256
地域包括支援センター	25-5121		

●歯科医　10月休日当番日

5日	佐久間歯科医院	（矢吹町）☎44-3118
12日	佐藤歯科医院	（白河市）☎23-1184
13日	鈴木歯科医院	（白河市）☎22-6191
19日	鈴木歯科医院（表郷）	（白河市）☎32-2029
26日	すずき歯科	（矢吹町）☎44-5555

●小児科医　10月休日当番日（白河地区）

5日	樋口小児クリニック	（矢吹町）☎42-2040
12日	みうら小児クリニック	（白河市）☎28-1001
13日	わたなべ子どもクリニック	（白河市）☎21-2166
19日	おかざきクリニック	（白河市）☎23-2551
26日	岡崎小児科内科医院	（白河市）☎23-7811

●内科医　10月休日当番日（白河地区）

5日	佐藤循環器科内科クリニック	（白河市）☎24-2311
12日	城南医院	（白河市）☎22-3541
13日	すずき内科クリニック	（白河市）☎24-4114
19日	鈴木ホームクリニック	（白河市）☎31-8181
26日	つかはら内科クリニック	（白河市）☎24-1011

※電話案内　しらかわ救急情報センター　☎23-9909
（看護師が電話にて当番医の紹介や当番医以外の専門医等の紹介や場所の案内をします。）

●**村内の休日診療所**　いわしなクリニック（☎48－1234）
［診療日］10月5・12・19・26日（8時30分～12時30分）

お知らせ

路線バス「新白河経由白坂駅線」の廃止について

10月1日より、白河市が運行しておりますJR白河駅と白河市白坂地区を結ぶ路線バスのうち、「新白河経由白坂駅線」が廃止となっております。

白坂方面のバスを利用される際は時間を確認のうえ、ご利用ください。

■**問合せ**
福島交通株式会社 白河営業所
☎23―3151

結核予防週間

結核は過去の病気ではありません。結核は人から人にうつる感染症です。自分が結核だと気づかずに周りの人々にうつしてしまうことがあります。

特に高齢者は咳・タンなど目立った症状があらわれにくく、発見されにくいのが特徴です。長引く咳（2週間以上）こんな時はすぐ病院へ！

結核は、早期発見・早期治療により治すことができます。

■**問合せ**
福島県県南保健所 医療薬事課感染症予防チーム
☎22―6405

自動車点検整備推進運動
強化月間　平成20年9月～10月

日常点検や定期点検をきちんと行っていますか。

日頃のこまやかな点検を行っていれば、運転中のトラブルの多くは回避できます。クルマの健康管理は、クルマを守るだけでなく、人の命や環境を守ることにつながります。

■**問合せ**
国土交通省東北運輸局福島運輸支局
☎024―546―0342
福島県自動車点検整備推進協議会
☎024―546―3451

「国の教育ローン」のご案内

「国の教育ローン」は、大学、短大、専修学校・各種学校や外国の学校等に入学・在学するお子さまをお持ちのご家庭を対象とした公的な融資制度です。

●**融資額**　学生・生徒お一人につき200万円以内

●**利率**　年2.2％（平成20年2月12日現在）

■**相談・問合せ先**
国民生活金融公庫 郡山支店
☎024―923―7140

第33回福島県林業祭

「森林を理解し、森の恵みを活かす」をテーマに第33回福島県林業祭を開催します。福島県きのこまつりも併せて開催し、楽しいイベントが盛りだくさんです。入場は無料ですので、ぜひ、ご来場ください。

●**日時**　10月25日(土)9時30分～16時
10月26日(日)9時～15時30分

●**場所**　県林業研究センター（郡山市安積町）

●**内容**　試験研究成果の展示、きのこの展示・販売、きのこ料理試食、森林のコンサート、緑化木の販売、ペレットストーブ展示など

■**問合せ**
林業研究センター
☎024―945―2160

第5回こころんまつり

●**内容**　アトラクション（コーラス、よさこい）、模擬店、バザーなどを開催します。入場は無料です。

●**日時**　10月19日(日)10時～15時

●**会場**
第1会場　泉崎中央公民館
第2会場　直売 カフェ こころや

■**問合せ**
NPO法人こころん
☎54―1115

高齢者虐待防止ネットワーク委員会が発足

村では、高齢者への虐待防止に取り組んでいますが、より一層の充実を図るため、法務局や警察、民生委員などの関係機関と連携し、去る8月21日「西郷村高齢者虐待防止ネットワーク委員会」を設立しました。

健康推進課（包括支援センター・高齢者支援係）が、緊急時のネットワーク委員会の招集や情報収集にあたるとともに、関係機関が連携して虐待防止の支援を行います。

高齢者虐待を見たり、気づいたりしたら、連絡してください。通報者の秘密は厳守されます。

●**虐待行為にあたる行為**
①**身体的虐待**（たたく、やけどを負わすなどの暴行を加えたり、ベッドに縛りつけたりするなど。）
②**介護・世話の放棄、放任**（低栄養、不衛生、通院させない状態で長時間放置するなど。）
③**心理的虐待**（怒鳴る、ののしる、悪口を言うなど心理的外傷を与える。）
④**性的虐待**（懲罰的に下半身を裸にする、性器への接触、性行為を強要したりするなど。）
⑤**経済的虐待**（本人の意志・利益に反して、年金など必要な額を渡さない、使わせないなど。）

■**相談・通報先**
包括支援センター　☎25―5121
健康推進課（高齢者支援係）　☎25―3910
※いずれも月～金曜日（祝日、年末年始を除く）
8時30分～17時15分

会津大学学園祭「蒼翔祭」

●**テーマ**　Encounter～縁が生んだキセキ～

●**場所**　会津大学

●**日時**　10月11日(土)・12日(日)
11日　10時～17時
12日　10時～19時

●**内容**　花火、各種模擬店、絵付け体験等
※企画詳細については会津大学学園祭オフィシャルWebサイトをご覧ください。
http://www.u-aizu.ac.jp/circles/gakusai/

■**問合せ**
会津大学学園祭実行委員会
☎・FAX0242―32―0785
✉ a-gakusai@u-aizu.ac.jp

●今月の納税

村県民税（3期）
後期高齢者医療保険料（3期）
国民健康保険税（4期）
介護保険料（4期）

10月31日（金）までにお納めください。
※納税は便利な口座振替で



相談

無料調停相談

●**日時**　11月12日㈬　10時～18時
（予約不要）
●**会場**　白河中央公民館（天神町）
●**内容**　土地、建物、金銭の貸し借りや離婚、相続の問題など（秘密厳守）
■**問合せ**　白河調停協会
☎22―5555

公証週間

10月1日から7日は「公証週間」です。公証制度は、公務員である公証人が、大切な遺言・契約の公正証書の作成、確定日付の付与、定款や私文書などの認証など、国の公証に関する事務を取り扱う制度です。
遺産相続、任意後見契約、金銭貸借、不動産貸借、離婚に際しての慰謝料、養育費などの問題は、先々にもめごとを引き起こしがちです。そんなとき遺言や当事者間の取り決めを公正証書にしておけば、後のトラブルを防止し、権利や財産を守ることができます。
相談は無料です。お気軽にご相談ください。
■**問合せ**　白河公証役場
☎23―2203

秋の行政相談週間（10月20日～26日）

行政相談は、県民の皆さんが役所（国、県及び市町村）や特殊法人等の仕事に関して、苦情や困っていること、心配なこと、分からないこと、要望したいことなどについて相談に応じ、その解決のお手伝いをするもので、総務省では、毎年この週間を設けて行政相談制度の一層の利用を呼びかけております。
【一日合同行政相談所の開設】
●**日時**　10月24日㈮　10時～15時
●**場所**　郡山市総合福祉センター5階集会室
【特設行政相談所の開設】
●**日時**　10月29日㈬　10時～15時
●**場所**　会津若松市中央公民館
■**問合せ**　各市町村行政相談担当課
福島行政評価事務所
☎024―534―1101

募集

平成21年度保育園入園申込受付

●**保育園入園申込受付日時及び場所**

保育園（受付場所）	申込受付日	時間
みずほ保育園【120名】	11月11日㈫	13時30分～17時30分
まきば保育園【150名】	11月12日㈬	
㈳川谷保育園【90名】	11月13日㈭	

・入園対象は、平成21年4月1日で生後10ヵ月齢（川谷保育園は6ヵ月齢）以上で、保護者の就労等の事由により、家庭内で保育することができない乳幼児で、かつ、同居の親族、その他の方が保育することができない場合となります。
・現在、入園している園児の申込は不要ですが、保育園を変更したい場合には、新たに申込が必要となります。
・申込書は、お子さまの入園の可否決定に、重要な資料となりますので、事実を記入してください。また、聞き取り調査等で事実と異なる場合は、入園が取り消しとなる場合があります。
・申込書は、10月15日㈬から各保育園・福祉課に用意しております。
■**問合せ**　福祉課（児童福祉係）

平成20年度福島県奨学生の追加募集について

【高等学校・専修学校（高等課程）】　76名程度

貸与月額	国公立	私立
自宅通学	18,000円	30,000円
自宅外通学	23,000円	35,000円

【大学】〈国公立〉　5名程度（貸与月額　35,000円）
〈私　立〉33名程度（貸与月額　40,000円）
【高等専門学校】　5名程度（貸与月額　18,000円）

●**申込期限**　10月24日㈮必着
■**問合せ・送付先**　〒960―8688
福島県福島市杉妻町2―16
福島県教育庁学習指導課奨学資金担当
☎024―521―7775
FAX024―521―7968

発売期間 9/29～10/17
お買いもとめはお早めに！！
オータムジャンボ
1等前後賞合わせて 2 億円
この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

学校給食センターの紹介

職員数　17 名	
所長、係長	
栄養教諭　1 名、栄養技師 1 名	
調理員　11 名、配送員　2 名	

給食数	2,145 食
幼稚園　1 園	63 食
小学校　5 校	1,365 食
中学校　3 校	717 食

所長を中心に、明るく楽しく開かれた学校給食を目指し、年間 200 日、安心安全な給食づくりに励んでいます。学校給食協力会や村農政課と連携して地産地消を推進し、和食を中心とした特色ある「にしごうマクロビ給食」を実施し、学校・家庭・地域と連携して、文部科学省「子どもの健康を守る総合食育推進事業」に取り組んでいます。

〈物資の検収〉

納入食材の量目・産地・品質・鮮度・品温等について、当番２人が確実にチェックします。



〈下処理作業〉

虫がついていないかどうか、キャベツや青菜は、葉っぱを一枚一枚丁寧に見ながら洗って、料理に合わせてカットします。





〈加熱調理〉

サラダやあえものの野菜もすべて加熱し、中心温度計で 85℃ 以上になったか確認し、冷却機でさましてからあえます。

揚げ物・焼き物も中心温度 85℃ をチェックします。



〈クラス毎に配食〉

クラスの人数と幼稚園児・小学校生・中学生の量を計算して配食します。





〈コンテナに納めて配送〉

温かいうちに子どもたちの待つ学校へ。

人口と世帯数（9月1日現在）人口 19,781 人（前月比 -7）男 9,982 人（-7）女 9,799 人（± 0）世帯数 6,615 戸（+11）

行事カレンダー

2008 年 10 月
October

●今月の顔――――
4 ケ月児健診 (9/17) に来ていた
愛くるしい赤ちゃんです。

日	月	火	水	木	金	土
			1 ポリオ予防接種（13:00 保健福祉センター）	2 ポリオ予防接種（13:00 保健福祉センター） つどいの広場（9:30 旧みずほ保育園舎）	3 生活総合相談所（9:00 文化センター） つどいの広場（9:30 旧みずほ保育園舎）	4 3Ｂ体操（10:00 保健福祉センター） フレンドリーカップ児童ソフトボール大会（8:30 米多目的グラウンド）
5 さわやか直売所（8:30 折口原農協精米所） あぶくま水の郷スポーツ大会（9:00 村民体育館）	6 生命の貯蓄体操（13:30 保健福祉センター）	7 6～7ヶ月児健康相談（9:30 保健福祉センター） 赤ちゃんの子育て講座（13:30 保健福祉センター） つどいの広場（9:30 旧みずほ保育園舎）	8 	9 つどいの広場（9:30 旧みずほ保育園舎）	10 生活総合相談所（9:00 文化センター） 1歳6ケ月児健康診査（13:00 保健福祉センター） つどいの広場（9:30 旧みずほ保育園舎）	11 地場産業商工祭（9:00 文化センター駐車場）
12 さわやか直売所（8:30 折口原農協精米所）	13 体育の日	14 つどいの広場（9:30 旧みずほ保育園舎） 母子手帳交付・健康相談日（13:00 保健福祉センター）	15 	16 つどいの広場（9:30 旧みずほ保育園舎）	17 生活総合相談所（9:00 文化センター） つどいの広場（9:30 旧みずほ保育園舎）	18 3Ｂ体操（10:00 保健福祉センター）
19 さわやか直売所（8:30 折口原農協精米所） 家畜改良センターふれあいまつり（10:00 家畜改良センター） 芸能発表会（9:00 文化センター）	20 生命の貯蓄体操（13:30 保健福祉センター）	21 つどいの広場（9:30 旧みずほ保育園舎）	22 赤ちゃんとママのおしゃべり広場（10:00 保健福祉センター） 歯科クリニック（幼児 13:00,6 歳児 13:45 保健福祉センター）	23 つどいの広場（9:30 旧みずほ保育園舎）	24 生活総合相談所（9:00 文化センター） 3歳児健康診査（13:00 保健福祉センター） つどいの広場（9:30 旧みずほ保育園舎）	25 3Ｂ体操（10:00 保健福祉センター） うつくしま・みずウオーク西郷大会（8:30 キョロロン村）
26 さわやか直売所（8:30 折口原農協精米所） 西の郷ロードレース大会（8:00 村民野球場）	27 母子手帳交付・健康相談日（13:00 保健福祉センター）	28 つどいの広場（9:30 旧みずほ保育園舎）	29 	30 つどいの広場（9:30 旧みずほ保育園舎）	31 生活総合相談所（9:00 文化センター）つどいの広場（9:30 旧みずほ保育園舎）	

★県南地域の主な行事です

- 10/5　あそびの学校「ハロウィンのキャンディーポット」（ジャスコ白河西郷店 13:30）
- 10/8　健康公開講座「骨粗鬆症と運動器不安定症」さかの整形外科クリニック　坂野 均（マイタウン白河 14:00）
- 10/12 埴輪つくり（まほろん 10:00）
- 10/12　矢吹さわやか健康マラソン (矢吹町役場 9:30)
- 10/11 ～ 12　棚倉秋まつり（棚倉町一円 10:00）
- 10/13　城下町わくわくフェスタ（ルネサンス棚倉 10:00
- 10/26　調査技術研修「考古学の写真」(まほろん 13:30)
- 10/25 ～ 26　収穫祭・そばまつり（白河関の森公園 10:00)

・発行 / 西郷村　・編集 / 企画調整課　〒961-8501　福島県西白河郡西郷村大字熊倉字折口原 40　☎(0248)25-1111(代表)
・アドレス　http://www.vill.nishigo.fukushima.jp/　・E-mail　kikaku@vill.nishigo.fukushima.jp